令和３年度全国学力・学習状況調査結果

南相馬市立石神第一小学校

１　実 施 日　　令和3年5月２７日（木）

２　調査対象　　第6学年児童　８名

３　調査内容

（1）　教科に関する調査（国語科、算数科）

○ 国語科　　問題数１４問　　調査時間　４５分間

○ 算数科　　問題数１６問　　調査時間　４５分間

（2）児童質問紙調査（生活習慣や学習環境等に関する調査）　質問数６９事項

４　調査結果

（1）各教科の平均正答率・全国との比較

① 国　語　　おおむね全国平均と同程度でした。
② 算　数　　全国平均を上回りました。

（2）児童質問紙調査（抜粋）

①　成果が見られた項目　　※　数字は本校児童回答（%）　（ ）内数字は全国回答（%）

質　問　事　項	当　て　は　ま　る	どちらかと言えば当てはまる
将来の夢や目標を持っていますか。	７５．０（６０．２）	０．０（２０．１）
国語の授業の内容はよくわかりますか。	６２．５（３９．５）	２５．０（４４．７）
算数の勉強は好きですか。	４２．３（３３．９）	２３．１（３０．１）
算数の授業の内容はよく分かりますか。	６２．５（５１．６）	３７．５（３３．０）
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。	３７．５（５４．０）	６２．５（３５．０）
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	０（３１．７）	１００（４１．３）

② 課題が見られた項目　　※ 数字は本校児童回答（%）　（ ）内数字は全国回答（%）

質 問 事 項	どちらかと言えば当てはまらない	当 て は ま ら な い
学校へいくのが楽しいと思いますか。	２５．０（１１．４）	５０．０（５．２）
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。	２５．０（２４．０）	２５．０（５．１）
自分には、よいところがあると思いますか。	１２．５（１５．５）	５０．０（７．５）
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。	１２．５（２３．８）	２５．０（５．９）
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	１２．５（２３．１）	３７．５（６．８）
休みの日にどれくらい勉強しますか。	1時間より少ない １２．５（２８．９）	全くしない ２５．０（１０．２）
授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいますか。	２５．０（１８．４）	２５．０（３．３）
月曜日から金曜日どのくらい読書しますか。	１０分～３０分 １２．５（２３．８）	全くしない ６２．５（２４．０）
国語の勉強は好きですか。	１２．５（２７．２）	３７．５（１４．３）
国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか。	３７．５（２０．４）	１２．５（５．２）

5　学力向上の取り組み（授業改善のポイント）

（1）　国語科

①　「何を学習するのか」「何ができればよいか」を明確にする

要旨を捉えることの必要性を感じられるように、活動の目的や価値を明確にしておく。例えば、複数の文章を読む活動を取り入れることで、必要感をもって文章全体の構成を捉えたり要旨を把握したりすることができるように指導する。

② 説明的な文章を読み、分かったことをまとめる

文章を部分的に取り上げて書かれている内容を詳しく読むだけではなく、文章全体の構成を捉えながら読ませる。例えば、文末表現に着目して事実と感想、意見などとの関係を押さえながら読ませる。

③　目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。

（2）算数科

①　伴って変わる２つの数量の関係に着目し、単位量当たりの大きさの意味及び表し方を理解し、単位量当たりの大きさを用いて比べる。

②　観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素などに着目して捉え、図形の数量について筋道を立てて説明する。

③　統計的に問題解決するために、集めるべきデータを判断したり、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりする。

6　保護者・地域の皆様へ

子どもの学習環境や生活環境づくりについて、保護者や地域の方々のご協力をお願いいたします。

（1）家庭学習について

○ 家庭で子どもが落ち着いて学習できる場と時間を確保する。

○ 保護者が子どもの学ぶ姿を見て、認め、褒める。

（2）読書について

○ 家庭で本が読める環境づくりをする。

○ 学校図書館や市立図書館を活用し、多くの本に接する。

（3）家族・地域社会との関わりについて

○ テレビやゲーム、スマホなどの時間を少なくし、家族とのふれあいや会話を大切にする。

○ 地域での行事への参加などから、地域や郷土のよさや人々のつながりの大切さを学ぶ。